

佐賀県高等学校

P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会
佐賀市南佐賀3-11-15
(佐賀県立佐賀高等学校内)
電話 0952(29)2573
FAX 0952(26)5435
印刷 大同印刷株式会社

変化に対応できる人材の育成

会長 西岡 豊



明けましておめでとうござい
ます。希望に満ちた新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。
昨年も一昨年に引き続き、全
世界が新型コロナウイルス感染
症の影響を受けた一年となりま
した。日本では、オリンピック・
パラリンピック開催後、急速に
感染者の数は減少しているもの
の、今後もオミクロン株への警
戒を含め、まだまだ予断を許さ
ない状況が続いています。

このコロナ禍の中で、昨年の
全国高P連大会島根大会は何と
かWebによる開催ができたし
たが、九高P連大会鹿児島大会
は宮崎大会に続き中止の決定が
なされました。本県のPTA活
動についても、2年連続で6月
の通常総会は書面審議、地区別
指導者研修会についてもすべて
の地区で中止となりました。今
年こそは、コロナ感染が収束し
て普段通りのPTA活動ができ
ることを期待しています。

さて、急激な人口減少社会の
進展に加えて、ICTをはじめ
とするテクノロジーの目覚まし
い発展、新型コロナウイルスへ
の対応等、子どもたちを取り巻
く教育環境はかつてないスピー
ドで変化を遂げています。特に
今回の突然の新型コロナウイルス
感染症の世界的な広がりには、
人々に予測不可能な未来の存在
を改めて意識させました。こ
うした状況の中で時折、進化論で
有名なダーウィンの「最も強い
者が生き残るのではなく、最も
賢い者が生き延びるものでもな
い。唯一生き残るのは、変化で
きる者である。」という名言が
脳裏に浮かびます。そして、今
後さらに変化を遂げる社会の中
で、柔軟に変化に対応できる人材
の育成が強く求められているこ
とを再認識しているところで
す。

早いもので、九高P連大会佐
賀大会も来年6月に迫ってしま
した。すでに昨年10月、会長・
副会長会を開催し、今後の準備
計画について確認をし、2月に
2回目の会議を持つこととして
います。特に本県は平成30年に
全国大会を開催していますので、
その経験を生かしながら、コロ
ナ禍の中ですが、少しずつ準備
を進めてまいります。皆さまの
ご協力とご支援を賜りますよう
お願いいたします。

最後に、会員の皆さまのご健
勝とご多幸を祈念いたしまして
年頭の挨拶いたします。

シリーズ No33

頑張ってるね!! 輝いてるね!!

温泉のようなあたたかい人を育てる

嬉野高等学校

本校は塩田校舎（工業科）と
嬉野校舎（総合学科）の2つの
キャンパスがある校舎制の学校
です。嬉野校舎では社会福祉系
列、情報ビジネス系列、観光・
流通系列の3系列に分かれて学
んでいますが、どの系列も地域
と連携し、社会貢献や地元の魅
力発信など積極的に取り組んで
います。



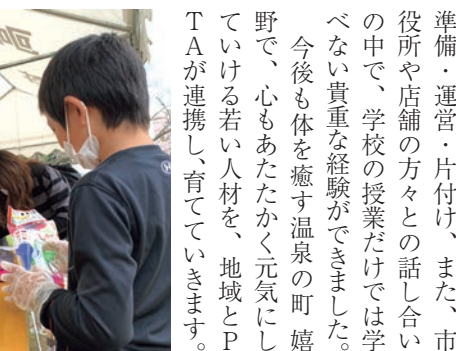
10月30日に行われた嬉野温泉
商店街協同組合が主催する「う
れしの温泉商店街 まちあそび
人生ゲーム with 嬉野高生」で
は、運営側として嬉野校舎全生
徒が参加して、イベントを盛り

上げました。

生徒たちは商店街の店々で、
ゲーム参加者のお世話をした
り、お店のアピールや、サービ
ス提供を行いました。生徒たち
の若いほほえみは、笑顔に参
加者も笑顔になっていました。
福祉サービスや観光、流通など



を学んでいることから、家族連
れの小さい子どもや、お年寄
りにも、優しく親切に対応し、商
店街全体がとも明るくあたた
かい雰囲気となりました。参加
者は商店街を歩きめぐり、普段
通り過ぎてしまうようなお店の
散策を楽しんでいました。企画・



た。今年度はともに天候に恵ま
れ、「地域に愛され、地域に信頼
される学校」を目指して、本校
全生徒は、明るく、元気に、一
生懸命清掃奉仕活動に取り組
みました。活動内容は、除草作業
や空き缶などのごみ拾いです。



これらの清掃活動を通して、
地域への貢献と学習・生活環境
の美化及びボランティア精神を



さわやか清掃奉仕活動

唐津青翔高等学校

「地域とつながる」

多くの高校が同じ課題に直面
していると考えられるのが、少
子化による生徒数の減少です。
本校の生徒数も現在は、最大時
の半数以下となっています。更
にこのコロナ禍の影響で少子化
の進行が加速されています。ま
た、半数以上の仕事が無くなる
多くの外国人と一緒に働くよう
になるなど指摘があるように、
今までの学校教育では、社会の
急激な変化に取り残されてしま
います。

このような中、15〜20年後の
高校はどのような姿になってい
るか想像することが難しくなっ
ており、魅力と活力ある高校づ
くりに対する課題は、学校だけ
では解決できず、地域の課題と
直結しています。学校運営上、
高校と高校の所在する地域とつ
ながるコミュニティ・スクール
（CS）の必然性がでてきます。

CSの導入は、学校が生徒・
保護者・教職員だけのものでは
なく、同窓生・未来の高校生・
地域の方々のものであるという
考え方を活用して、様々な地域
連携活動に取り組むことで、学
校が安心感や信頼感、所属感、
期待感などを与え、皆が協働で
きる場所となります。また、生
徒が郷土への誇りと愛情をもて
る教育を地域の資源や人材を活
用した教育環境に求めていき、
高校生の若い力で地域に恩返し
をする。このような取り組みが
18歳選挙権となったことによる
主権者としての自覚を高めるこ
とになります。高校こそが地域
と結びつき、それぞれの学校の
使命や責任を明確にさせ、その
高校が地域を変える可能性を秘
めているのがCSだと思います。

唐津西高等学校
校長 吉山耕一郎

ぜんざい会に代えて菓子を配布

三養基高等学校

コロナ禍以前は受験を控えた3年生を激励するために、12月



初旬に体育館でPTAから全校生に作り立ての温かいぜんざいをふるまっていた。食後は皆で声を合わせて3年生にエールを送っていました。この会のために、PTA会員は3日前から準備を始め、当日は朝6時から約700人分を調理するという作業を行っていました。残念ながら昨年度からコロナ禍で実施できなくなり、その代わりに今年度はどら焼きとマドレーヌのセットを配りました。各教室にて担任の先生にPTA会長からの応援メッセージを読み上げてもらった後、お菓子を手渡していただきました。3年生のどら焼きには特別に合格祈願の達磨や当たり矢が印字されており、思わず顔がほころぶひとときとなったようです。

〈特集〉

コロナ禍における各学校のPTAと連携した取組紹介

総合学科高校である本校では、自分が選んだ専門的な学びを卒業後さらに深めたいと考える例年5〜6割の生徒が、大学、短期大学、専門学校等への進学を希望し、校内での進路ガイダンスや志望校のオープンキャンパスに参加しています。しかし、保護者にはそのような機会が少ないため、進路選択の参考となるよう、PTA活動として県内または近隣の学校視察を毎年行っています。

コロナ禍での学校視察研修

神埼清明高等学校



佐賀女子短期大学訪問

て県外の視察を取り止め、県内の佐賀女子短期大学と佐賀調理製菓専門学校を13人という少人数で訪問しました。参加した保護者は、学校の概要説明だけでなく、講義や実習などを実際に

キットカットで応援となった善哉会

佐賀西高等学校

佐賀西高校では、後援会（PTA）主催行事として、例年1月の寒稽古に合わせて生徒にぜんざいを振舞い応援する「善哉会」を実施してきました。令和2年度は、コロナ禍により残念ながら寒稽古および善哉会の開催を見合わせる事となりました。



その代替として、全学年の生徒および学校職員に対してキットカットの配布を行うことで、受験を控えた3年生をはじめ生徒を応援する思いを伝えました。令和3年1月15日に校長室にて贈呈式が行われ、森裕章後援会長から生徒代表にキットカットが送られました。

キットカットにメッセージを書いて渡すことで、友人や先輩を応援したり、家に帰って家族と分け合ったりして、思いを様々な形で届けたそうです。コミュニケーションを深めるきっかけとなりました。

令和3年度もコロナ禍により、残念ながら寒稽古・善哉会の実施を見合わせる事となりましたが、今年度もキットカットで生徒を応援する計画です。

マラソン大会で愛情いっぱいのお弁当

嬉野高等学校

12月10日（金）、伝統の一つであるマラソン大会が、今年度も開催されました。コースは約20キロ。運動部の活動が盛んな本校ですが、かなりの距離です。

PTAでは毎年、寒い中、一生懸命走る生徒たちにあたたかいラーメンをふるまってきました。今年度は、コロナウイルス感染予防の為に、昨年と今年度は調理を断念しました。しかし、頑張る子供たちになにかしてあげたい、という声があがり、お弁当を配布することに！食べ盛りの生徒たちに喜んでもらえるようメニューをあれこれ考え、準備し、当日ゴールで一人一人に手渡しました。参加されたPTAからは、「頑張る姿を見て応援することができて嬉しかった。」



県下一斉合同列車指導

新しい舞台へ踏み出せ！あなたも主人公

神埼高等学校

11月11日（木）、佐賀県高等学校生徒指導連盟との合同列車指導（下校時）が行われました。これは、高校生の駅構内及び列車内でのマナーを向上させるため、県内高校職員・保護者、JR九州・東松浦鉄道職員、佐賀県警察及び少年補導員が一緒に、毎年この時期に実施しているものです。出発式では、西岡豊県連会長から、子どもたちの健全育成に向けた取組への感謝の気持ちが伝えられ、これからの温かく見守ってほしいとのお願いがありました。



当校は、令和3年8月に神埼市本告牟田に全面移転しました。校舎の外観は、校章の鶴をモチーフにした白と黒のモノトーンで、内部は木目調の温かいデザインです。全室冷暖房、最も高い基準のバリアフリー構造、大地震対応の強度、大雨の時、近隣の流水を制御する調整池の機能などが備わっています。また、神埼市には、駅前の駐輪場の増設や、近隣の道路拡張などを行っていただきました。近隣の皆様には、移転を歓迎していただき、地域の会合では、「ここ危なかけん通学のとこ注意すつこと生徒さんに言うところね」などと声をかけてくださいます。

九高P連大会佐賀大会に向けて

佐賀県高等学校PTA連合会事務局

平成30年8月に、第68回国高等学校PTA連合会大会佐賀大会を県内5会場で開催しました。来年6月には第67回九州地区高等学校PTA連合会大会を佐賀県で開催することが決定しています。

そこで、昨年10月に「会長・副会長会」を開催し、以下のとおり、大会日程や今後の準備計画等を協議しました。

【第1日目】令和5年6月29日（木）ホテルニューオータニ佐賀・理事会、総会、委員会等【第2日目】令和5年6月30日（金）佐賀市文化会館、佐賀県総合体育館・分科会、開会式、全体会等

来月の2月25日（金）には、

来年度の佐高P連「会費」及び全国高P連賠償責任補償制度の「掛金」は今年度と同じです。

【佐高P連事務担当者会議】4月20日（水）14時「グランデはぐくれ」【佐高P連通常総会】6月10日（金）14時「グランデはぐくれ」【九高P連大会「長崎大会」】6月16日（木）・17日（金）「出島メッセ長崎」【全国高P連大会「石川大会」】8月24日（水）・26日（金）「いしかわ総合スポーツセンター」ほか

お知らせ

来年度の佐高P連「会費」及び全国高P連賠償責任補償制度の「掛金」は今年度と同じです。

【佐高P連事務担当者会議】4月20日（水）14時「グランデはぐくれ」【佐高P連通常総会】6月10日（金）14時「グランデはぐくれ」【九高P連大会「長崎大会」】6月16日（木）・17日（金）「出島メッセ長崎」【全国高P連大会「石川大会」】8月24日（水）・26日（金）「いしかわ総合スポーツセンター」ほか



第68回全国高P連大会佐賀大会開会式